

平成29年6月8日

第22回米沢有為会「文化大学」講座のお知らせ

会員・学生・調布市入間町会の方々へ

大学学長 米野 宗禎

上杉鷹山公は、若くして財政破綻寸前の米沢藩の藩主となられた。長い年月をかけて行政改革・産業改革を実施しました。その結果藩は安定し、民の暮らしも豊かになりました。現在の置賜地方（3市5町）は、少子化で中学校の統廃合が進んでいる。今までの米沢有為会は、郷里を離れ、都会に出る学生を支援してきた面がある。このような状況に対して、地元に戻って活躍してくれる若者を支援すべきだという声も出ている。それで、地方の活性化のために、いろいろな課題に取り組んでおられる米沢市長の中川 勝 氏に講演を依頼しました。そういうことで会員の皆様も多数ご参加ください。

記

日 時 : 7月8日 (土) 午後2時～4時 会 場 : 東京興讓館

テーマ : 今に生きる上杉鷹山公

講 師 : 中川 勝

講師略歴 : 米沢商業高校、山形県会議員

(参考文献)「代表的日本人」内村鑑三著、鈴木範久訳 岩波文庫

原文は英文 **Representative Men of Japan 1908** (明治41)年 刊行

この本の中で代表的日本人の1人として上杉鷹山公が取り上げられている。

この本がきっかけとなって海外にも鷹山公の名が知られるようになったと思われる。

(注) 当日、米沢興讓館同窓会東京支部の会合と時程が重なる部分があるので、講演会は、午後4時前に終了する予定です。